遙けくも偉大なるかな 足引きの手稲の峰よ 山際に映えては著しやまぎわ か た夕陽は沈み

な

稜 線 黄昏の山並みを愛ずたそがれできな の美しさ永遠に

の世ょ ・夢ゅれる 明*移る いやすく

今^き 日ぅ 0 日す には空し Ē

人気無き小道歩かば 並み に舞え に湧ける 0 木き 日の路に Iの 愁れ は へ飄 飄学徒 7孤高の思い 黄なが 金が い を誘う 量に映えて

いざ守らむ真理の灯

思^ぉも 我がます 仰ぎ見む悠久の天 ずや遠き故郷 (む道を照らさむ は 北 いいの星を 咲さけ

> 木村 \mathbb{H} 政 \Box 拓 明 君 君 作 作 詇 \oplus